

ぼくが生きてる、 ふたつの世界

日本語字幕付き
で上映します
(バリアフリー版)

伝えられない想いが
あふれます。



監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三 長井恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース: 山国秀幸

製作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダースタジオ/ 博報堂DYミュージック&メディアエンタテインメント/ キヤノン/ IR原日本コミュニケーションズ/ アイビーアイ/ アイエス/ 河北新報社/ 東日本放送/ シネマシティ)

助成: 文部科学省文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: キヤノン GAGA gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA
GENDA GROUP



親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく……。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の眞美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出し、いく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていったのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

とっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



バリアフリー日本語字幕付き上映

上映日程

5月31日(日)

- ① 10:30 ~ 12:15
- ② 14:00 ~ 15:45

開場は上映の30分前になります

渋川市民会館

【主催】公益財団法人渋川市まちづくり財団

【お問合せ】TEL: 0279-24-2261 (休館日を除く 9:00-17:00)

入場料

全席自由 一般 1,000円(当日1,200円)
高校生以下 800円(当日1,000円)

チケット発売日

5月9日(土) 9:00 ~ 会館窓口にて販売